



芝小だより

1月号

令和5年1月10日
 発行者 港区立芝小学校
 〒105-0014
 港区芝2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
[FAX:03-3456-3071](tel:03-3456-3071)

「笑う門には福来る」

校長 川原 哲郎

新年明けましておめでとうございます。令和5年、2023年が始まりました。新しい年を御家族で穏やかに迎えられたことと思います。昨年は、新型コロナウイルスの感染防止策をとりながらですが、少しずつ以前のような活動ができた部分もありました。保護者の皆様、地域の皆様に御協力をいただき、子供たちの笑顔をたくさん見ることができました。ありがとうございました。

12月に、9代目 春風亭柳枝師匠をお招きし「芝小こども落語会」を実施しました。4年～6年生が参加しました。ほとんどの子が、生で落語を聞くのは初めてという状況でしたが、落語とは何か、落語のしぐさや表現方法、使う道具などを教えていただきました。そして落語を聞くときに何より大切なのは、想像力を働かせることだということも教わりました。実演も見せていただきましたが、体育館中笑いで包まれました。子供たちが想像力を十分に働かせていることが感じられました。また、子供たちの笑い声を聞いたり笑顔を見たりしていると、こちらも幸せな気分になりました。改めて、笑顔になること、笑うことは大切だと感じました。

今年も更に、子供たちの笑顔があふれる年になるよう、教職員一同引き続き努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様にも、より一層の御理解と御協力、御支援を賜りたくお願い申し上げます。

来年度に向けて

今、学校では来年度の計画を立てています。その中で大きく変更する点についてお伝えします。

●全学年クラス替えを実施（今後、毎年クラス替えを行います。）

児童数や学級数が増加していることもあり、卒業までにいろいろな友達や先生方と関わってほしいと考えています。また、教員一人一人が児童一人一人を見ていく体制の強化、様々な教育課題の解消を図ることにもつながります。

●学芸的行事について

今まで芝小では、学芸会(昨年は学習発表会)と音楽会を交互に実施してきました。今後はそこに展示会を加え、3サイクルで実施していきます。子供たち一人一人がもつ得意なことを全体に表現できる機会をつくっていきます。

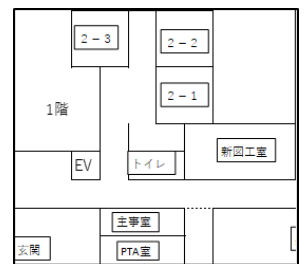
令和5年度 学芸会又は学習発表会 令和6年度 展示会 令和7年度 音楽会 というように実施していきます。

新型コロナ感染症対策

基本的には、港区教育委員会のガイドラインに沿って感染症対策を行っていきます。状況によっては、活動の幅を広げたり、人数制限などを緩和したりする対応を取っていきこうと思っています。また、様々な事情によりマスクができない人、マスクをしない人(子供も大人も)もいます。御理解の上、見守りをお願いします。学校では、こうしたことが偏見などにつながらないよう指導しています。

教室の配置換えについて

保護者の皆様にはすでにお知らせした通り、三学期より教室の配置を一部変更します。2年生の3クラスが、新しくできた1階の教室に、右の図のように移動します。また、算数少人数の教室は、3階の旧2年1組の教室になります。よろしくお願いします。



1月生活目標「礼儀正しくしよう」

「挨拶や言葉遣いを大切に生活しよう」

新年になり、子供たちからは明るく元気な挨拶が聞こえてきました。家族や親戚、友達や近所の方にも礼儀正しく挨拶ができると、お互いが一日を気持ちよく過ごすことができます。

学校生活の中でも「礼儀正しさ」が大切になる場面が多々あります。それは言葉遣いです。相手の気持ちを深く考えずに発した言葉が、時に友達とのいさかきの要因となるときがあります。子供たち自身が意識して、お互いに節度のある礼儀正しい関わり方をしていけるように引き続き指導していきます。

(生活指導部 佐藤 昭夫)

学びの部屋

～3年生 社会科見学～

3年生になり、社会科が新しい教科として始まり、2年生までの自分たちの学校や町から範囲を広げて港区について学んでいます。2学期には、港区にあるお菓子工場と芝消防署に社会科見学に行き、「実際に見て、聞いて学ぶ」という3年生という時期に必要な体験ができました。分かったことを知らせたい！と、新聞やポスターにまとめる力も付いてきました。「お店や工場の人はお客さんのことを考えて、衛生面にも気を付けている。」「消防士さんは火の恐怖を乗り越えて、私たちを助けてくれている。」など、自分たちとの関わりにまで学びをつなげて、いろいろな人に支えられていることを実感しています。

(3年生担任 田部井 千可子)